

お客様各位

株式会社日立ソリューションズ  
Palo Alto Networks 製品ユーザーサポート

### WildFire API 無償利用可能数変更のお知らせ

平素は Palo Alto Networks 製品ユーザーサポートをご利用くださいまして誠にありがとうございます。無償利用可能な WildFire API 数の上限値の変更について Palo Alto Networks 社からアナウンスがあり、この度、詳細を確認できましたので、以下の通りご連絡いたします。

#### 1. 概要

無償利用可能な WildFire API 数の上限値が以下の通り、変更されました。

2021年11月3日以前：1日あたり1,000ファイル送信、10,000クエリ

2021年11月3日以降：1日あたり150ファイル送信、1,050クエリ

※PA シリーズから自動転送される分はカウントの対象外です。

#### 2. 対象のお客様

無償利用の範囲内で WildFire API を利用しているお客様が対象となります。WildFire サブスクリプションをご購入いただいているお客様は、有効期限までは利用可能な WildFire API 数に変更はありません。ライセンス更新時に新しい上限値が適用されます。

#### 3. 影響

上限値を超えた場合は即時利用不可となり、上限値を超えたことを示すレスポンスコード (419 Max Request Reached) が返されます。なお、毎日 23:59:00 UTC (08:59:00 JST) に利用可能な WildFire API 数のカウントがリセットされます。

#### 4. 利用可能な WildFire API 数の確認方法

利用可能な WildFire API 数は以下の手順で確認してください。

- (1) WildFire ポータル(<https://wildfire.paloaltonetworks.com/>)へログインします。※
- (2) メニューバーにて Account を選択します。
- (3) MY WLIDFIRE API KEYS にて当該 API key の以下の値を確認してください。
  - ・ Daily Uploads Remaining : 利用可能な残りのファイル送信数
  - ・ Daily Query Remaining : 利用可能な残りのクエリ数

※ログインするには **CSP** アカウントが必要となります。**CSP** アカウントをお持ちでない場合、**CSP** アカウントの作成を弊社サポートまでご依頼ください。詳細については、弊社サポートサイトの「サービス > PaloAlto 社ログインアカウント」をご確認ください。

#### 5. 対応策

無償利用可能な **WildFire** API 数の上限値を超えて **WildFire** API をご利用する場合、追加利用可能となる **SKU** がリリースされておりますのでご購入を検討ください。なお、購入に関しては弊社営業にお問い合わせください。

以上